



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エンプラス

コード番号 6961 URL <https://www.enplas.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼経営執行役員 財務経理本部 本部長 (氏名) 藤田 慈也 TEL 03-6268-0259

四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	27,954	△13.4	3,554	△49.7	3,871	△44.3	2,284	△37.2
2023年3月期第3四半期	32,270	35.2	7,064	218.3	6,950	236.1	3,635	152.7

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,447百万円 (△30.8%) 2023年3月期第3四半期 4,985百万円 (127.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	258.78	254.25
2023年3月期第3四半期	412.20	412.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	56,864	50,202	86.9	5,597.96
2023年3月期	54,599	47,307	85.3	5,276.10

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 49,422百万円 2023年3月期 46,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	30.00	-	30.00	60.00
2024年3月期	-	30.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	30.00	60.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,500	△6.5	5,400	△38.8	6,000	△31.7	4,200	△9.1	475.91

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	9,732,897株	2023年3月期	9,732,897株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	904,276株	2023年3月期	910,432株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	8,826,175株	2023年3月期3Q	8,819,919株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2024年1月31日(水)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、インフレ継続による購買力の低下や金利上昇による財需要の押し下げ、中国経済の停滞により、減速しております。

米国においては、製造業は調整局面が長期化し、設備投資は低調に推移している一方、良好な雇用・所得環境により個人消費は底堅く推移しております。

中国においては、個人消費の低迷や輸出の落ち込み、不動産不況など景気減速が継続しております。

新興国・地域においては、世界景気の減速により輸出が低迷しているものの、内需は底堅く推移しております。

わが国経済は、堅調な設備投資やインバウンド需要の回復継続、名目賃金の上昇により、景気は緩やかに回復しております。

このような状況の中、当社が関連する市場においては、世界経済の減速や半導体需要の低迷など、依然として不透明な状況が継続しております。

当社は、顧客のニーズに対して当社グループの技術やソリューション提案力の強みを繋げることにより、課題の解決を通し社会に貢献するとともに、新規事業創出の機会としてまいります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は27,954百万円（前年同期比13.4%減）となり、営業利益は3,554百万円（前年同期比49.7%減）、経常利益は3,871百万円（前年同期比44.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,284百万円（前年同期比37.2%減）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

「Semiconductor事業」

各種ICテスト用ソケット、バーンインソケットは、サーバー用途とモバイル用途の市場調整が継続し、売上高は低調に推移しました。当第3四半期連結会計期間においては、サーバー用途は第2四半期連結会計期間より大幅に落ち込んだ一方、その他の用途は概ね堅調に推移しました。半導体需要の調整は、当初想定より長引いているものの、特に当社が注力しているサーバーや自動車用途の需要は中期的には増加傾向が続くと見込んでおり、将来の成長に備えた生産能力増強や技術開発への投資を積極的に進めております。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,110百万円（前年同期比33.1%減）、セグメント営業利益は1,341百万円（前年同期比73.6%減）となりました。

「Life Science事業」

遺伝子検査用製品は、顧客の生産調整が継続し、売上高は低調に推移しました。来期以降、新製品の量産立ち上げは予定しているものの、顧客の生産調整が長引く見通しであることから、抜本的なコスト構造の見直しによる収益改善を進め、来期黒字化を目指してまいります。なお、当該Life Science事業には、新規分野への先行投資や新事業開発が含まれております。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,853百万円（前年同期比26.6%減）、セグメント営業損失は893百万円（前年同期は258百万円のセグメント営業損失）となりました。

「Digital Communication事業」

光通信関連の光学デバイスは、AI用途等のハイエンド領域において高いシェアを維持し、売上高は好調に推移しました。今後もAI用サーバー市場は成長する見通しの一方、競争環境が厳しくなることも想定するなかで、主力製品のシェア維持や横展開による販売促進、次世代製品の開発・上市を進め、事業成長を目指してまいります。LED用拡散レンズは、液晶テレビ市場の需要減少が継続し、売上高は低調に推移しました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,397百万円（前年同期比56.2%増）、セグメント営業利益は2,419百万円（前年同期比105.0%増）となりました。

「Energy Saving Solution事業」

自動車用部品は自動車の生産回復、自動車の電装化に対応した低騒音・高効率ギヤソリューションビジネスの拡大により、売上高は堅調に推移しました。今後もEV需要の取り込みによる北米や欧州地域でのシェア拡大、既存の日系顧客向けの販売を促進してまいります。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,592百万円（前年同期比8.6%増）、セグメント営業利益は687百万円（前年同期比35.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は56,864百万円となり、前連結会計年度末比2,264百万円の増加となりました。

流動資産につきましては348百万円増加しました。主な変動要因は受取手形及び売掛金で1,081百万円、原材料及び貯蔵品で466百万円減少したものの、現金及び預金で2,086百万円増加したことによるものです。

固定資産につきましては1,916百万円増加しました。主な変動要因は有形固定資産で1,877百万円増加したことによるものです。

負債は6,661百万円となり、前連結会計年度末比630百万円の減少となりました。

流動負債につきましては887百万円減少しました。主な変動要因は未払法人税等で480百万円、未払金で426百万円減少したことによるものです。

固定負債につきましては256百万円増加しました。主な変動要因はリース債務で283百万円増加したことによるものです。

純資産は50,202百万円となり、前連結会計年度末比2,895百万円の増加となりました。主な変動要因は利益剰余金で1,754百万円、為替換算調整勘定で995百万円増加したことによるものです。

その結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は86.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年10月27日に公表しました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,766	22,853
受取手形及び売掛金	9,874	8,793
製品	1,201	1,265
仕掛品	724	814
原材料及び貯蔵品	2,753	2,286
未収消費税等	1,067	694
未収還付法人税等	79	214
その他	995	1,036
貸倒引当金	△24	△172
流動資産合計	37,438	37,786
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,448	3,825
機械装置及び運搬具（純額）	2,133	2,532
工具、器具及び備品（純額）	1,162	1,226
土地	6,838	6,855
使用権資産（純額）	1,320	1,713
建設仮勘定	364	992
有形固定資産合計	15,268	17,146
無形固定資産		
ソフトウェア	142	147
その他	77	67
無形固定資産合計	220	214
投資その他の資産	1,671	1,716
固定資産合計	17,161	19,077
資産合計	54,599	56,864

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,162	1,189
リース債務	290	368
未払金	1,268	841
未払費用	635	597
未払法人税等	1,166	686
契約負債	151	169
賞与引当金	828	530
転貸損失引当金	25	27
役員賞与引当金	68	78
災害損失引当金	—	76
その他	319	464
流動負債合計	5,918	5,031
固定負債		
リース債務	1,054	1,337
退職給付に係る負債	83	82
繰延税金負債	27	24
転貸損失引当金	57	40
その他	150	143
固定負債合計	1,373	1,629
負債合計	7,292	6,661
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,080	8,080
資本剰余金	1,998	2,013
利益剰余金	36,182	37,936
自己株式	△3,276	△3,255
株主資本合計	42,984	44,775
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103	191
為替換算調整勘定	3,460	4,455
その他の包括利益累計額合計	3,563	4,646
新株予約権	53	103
非支配株主持分	705	677
純資産合計	47,307	50,202
負債純資産合計	54,599	56,864

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	32,270	27,954
売上原価	16,596	15,078
売上総利益	15,673	12,875
販売費及び一般管理費	8,608	9,320
営業利益	7,064	3,554
営業外収益		
受取利息	44	214
受取配当金	14	16
為替差益	141	105
スクラップ売却益	38	45
その他	49	49
営業外収益合計	289	430
営業外費用		
支払利息	48	56
持分法による投資損失	346	—
支払補償費	—	44
その他	9	13
営業外費用合計	403	114
経常利益	6,950	3,871
特別利益		
固定資産売却益	17	41
投資有価証券売却益	7	8
その他	1	0
特別利益合計	26	50
特別損失		
固定資産売却損	3	6
減損損失	108	—
訴訟関連損失	—	73
災害損失引当金繰入額	—	101
投資有価証券評価損	1,433	—
事業再構築費用	—	104
貸倒引当金繰入額	—	162
特別損失合計	1,544	448
税金等調整前四半期純利益	5,431	3,473
法人税、住民税及び事業税	1,559	1,243
法人税等調整額	68	△98
法人税等合計	1,627	1,144
四半期純利益	3,803	2,328
非支配株主に帰属する四半期純利益	168	44
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,635	2,284

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	3,803	2,328
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	133	87
為替換算調整勘定	1,275	1,031
持分法適用会社に対する持分相当額	△227	—
その他の包括利益合計	1,181	1,119
四半期包括利益	4,985	3,447
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,817	3,367
非支配株主に係る四半期包括利益	168	80

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。